

若年者への介護・福祉分野のキャリア教育

滋賀県介護・福祉人材センター

ふく・楽Café事業の内容

- 高校生・大学生に対して福祉の現場で働く職員の方々との対話などを通じて、福祉の仕事のやりがいや魅力を学ぶ。
- 学校の希望に合わせたフレキシブルな内容
例)①ゲストスピーカー方式②学校の就職ガイダンスで、福祉分野としてブース出展
- 広報:県内高校へのチラシの配布(年1回)、センターHP、各種SNS、FMラジオCMでの周知。その他イベントでのチラシ配布。

ふく・楽Café事業での課題

- ① 県内高校において、介護・福祉分野への就労希望者数が減少している。
- ② 参加後の生徒へのアンケート結果では、福祉についてのイメージが良くなった69%、大変良かったが66%であるが、就労や進学に結びついていない。

事業利用促進への工夫

- ふく・楽Café事業メニューの増加と参加対象人数の変更
 - ・ 社会学部進学希望者に対して、福祉分野でのキャリアガイダンスを行う。
 - ・ 高校進路指導課への働きかけ。希望者1名以上でも事業の実施を行う。
- 介護・福祉分野への就労や進学についての広報・周知方法を工夫する。
 - ・ 若者向けのパンフレットの作成
 - ・ 中核市教育委員会への働きかけにて、市内全中学校1年生への配布(2,900部)

今後の展望

- 参加校の増加に向けて、県教委・学校等教育現場の理解の促進
- 教員・保護者などへの啓発や魅力発信の展開
- 県教委等運営委員会等連携会議等への参画の検討

